



『脱炭素アクションみぞのくち』とは？



川崎市は持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。

脱炭素社会の実現に向けて

「脱炭素」とは、地球温暖化の原因である二酸化炭素 (CO₂) の排出量を可能な限り減らし、排出されたCO₂を吸収・削減することにより、実質的にCO₂の排出量をゼロにすることをいいます。

川崎市は、2050年の脱炭素社会の実現に向けて、2020年2月に2050年のCO₂排出実質ゼロを表明するとともに、同年11月に脱炭素戦略「かわさきカーボンゼロチャレンジ2050」を策定し、2030年に向けた取組の一つとして、『脱炭素アクションみぞのくち』を創設しました。

高津区溝口周辺地域で脱炭素化に資する身近な取組や先進的な取組を集中的に実施し、取組の効果や利便性を実感してもらうことで、市民一人ひとりの環境配慮型のライフスタイルへの行動変容を促進し、脱炭素社会の実現を目指します。

事業者・団体×行政でみぞのくちの脱炭素を進めます

溝口周辺地域で脱炭素に取り組んでいる事業者・団体等が集まり「脱炭素アクションみぞのくち推進会議」が発足しました。さまざまな主体の連携により、脱炭素に関する新しい事業やアイデアの実現を目指していきます。

脱炭素アクションみぞのくち推進会議の会員事業者・団体と行政が連携して、新たな事業・プロジェクトの創出や市民の皆様へ「行動変容」してもらえるようなイベントなどを行っていきます。

国の「脱炭素先行地域」に指定されました

川崎市は、脱炭素アクションみぞのくちなどの取組が評価され、国の「脱炭素先行地域」に選定されました。

民間施設においては、「脱炭素アクションみぞのくち推進会議」の会員事業者・団体と共同で、民生部門の電力消費に伴うCO₂排出実質ゼロに向けた取組を進めます。公共施設については、CO₂排出実質ゼロに向けた取組や2030年度までに再エネ100%電力導入等の取組を進めます。

もっと知りたい方へ

『脱炭素アクションみぞのくち』における事業者・団体等の取組やイベント告知などについて、特設 WEB サイトで紹介しています。詳しく知りたい方はぜひご覧ください！

<https://carbon0-mizonokuchi.jp/>



2023年3月発行

お問合せ先：川崎市環境局脱炭素戦略推進室

電話：044-200-3871 / Email：30dtanso@city.kawasaki.jp

脱炭素モデル地区

脱炭素アクションみぞのくち



みぞのくちって
どんな
環境にいいことを
しているんだろう？
詳しくはリーフレットの中へ！



さまざまな脱炭素アクションがみぞのくちで広がっています！

掲載情報は2023年2月現在のものです

公共施設の電気を再生可能エネルギー100%に！

高津区役所、橘出張所、高津市民館橘分館、高津図書館では、再生可能エネルギー100%の電気を使用しています。施設内のLED化を進めて省エネに取り組んでいます。

マイボトルを持ち歩こう

マイボトルの利用促進のため、高津区役所などに給水スポットが設置されています。マイボトルを活用することで、ペットボトルの消費を減らし、お財布にも優しくエコに取り組みます。



シェアリングサービスが広がっています

多くの利用者で道具を「シェア」するサービスは、無駄づかいの防止やごみを減らすにつながります。エコな移動手段であるシェアサイクルや、急な雨の日に助かる傘のシェアサービスなどが広がっています。



電車はクリーンな移動手段

溝の口駅を通る田園都市線をはじめ、東急線は全線が再生可能エネルギー100%の電力で運行しています。

また、武蔵溝ノ口駅を通るJR南武線では、CO₂を出さないエネルギー「水素」で走る鉄道車両の試験走行が行われています。



商業施設の再生可能エネルギー100%化も進んでいます

マルイファミリー溝口及びノクティプラザ全体で、地球にやさしい再生可能エネルギーを100%使用して施設を営業しています。

このほかにも、省エネ・リサイクルなど様々な環境にやさしい取組が行われています！

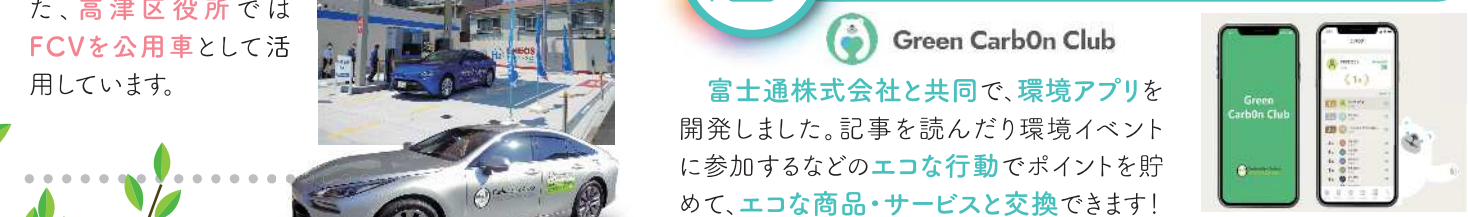
水素で走る自動車！

CO₂を出さない燃料である水素を使って走る燃料電池自動車（FCV）。梶ヶ谷には、市内3か所しかない水素ステーションがあり、FCVに水素を充填しています。また、高津区役所ではFCVを公用車として活用しています。



環境にやさしい行動をしなくなるアプリ！

富士通株式会社と共同で、環境アプリを開発しました。記事を読んだり環境イベントに参加するなどのエコな行動でポイントを貯めて、エコな商品・サービスと交換できます！



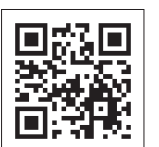
H₂ 駅でも水素エネルギーを活用しています

JRの「エコステ」モデル駅である武蔵溝ノ口駅では自立型水素エネルギーシステムを導入し、駅舎の屋根に設置した太陽光パネルの電力から水素を製造してタンクに補充しています。補充した水素を利用して発電した電気を、夜間や災害時に活用しています。



イベントや動画などで情報発信中！

イベント、HPや動画などで、事業者・団体の脱炭素アクションをPRしています。高津区内の子どもたちが「キッズYouTuber」となって、企業・団体の取組を紹介する動画も作りました。



イベントや情報や動画をチェック！

ごみを利用して発電します

2023年に竣工予定の橘処理センターでは、ごみの焼却時の熱を利用してCO₂を出さない電気を発電します。場内で使用する電力のほか、一般家庭13,000世帯相当分の電力をまかなうことができます。



水素関連施設VR

